



## 目的積立金の取り崩しについて

当組合では、積立目的や取崩基準等を定めて、任意に積み立てしている①財務基盤整備強化積立金、②リスク管理積立金、③施設整備等積立金の3つの目的積立金があります。

積立目的に沿って取り崩しする場合は、理事会決議で行い、総代会に付議することは要せず、損益計算書の「当期首繰越剰余金」の次に「〇〇積立金取崩額」と記載し、「当期末処分剰余金」の金額に含めるとされています。

一方、目的外の取り崩しをする場合は、総代会決議が必要とされており、剰余金処分案の「当期末処分剰余金」の次に「任意積立金取崩額」と記載し、取り崩しを行う事業年度に付議される剰余金処分案の決議により、取り崩しが可能とされています。

いずれにしろ、組合の事業の改善発達のための具体的な支出に充当するために、明確な目的をもつものとしてその積立が認められているものであり、これらの目的に沿って、組合員に有効な取り崩しや使い方が求められています。

## 自己改革実践中 ま秋は田げなA

政府が定めた「農協改革集中推進期間」が令和元年5月で期限を迎えましたが、JAはこれからも継続して自己改革に取り組みます。「農業や地域になくてはならないJA」を目指し、地域農業に根ざした活動を多角的に展開していきます。

担い手の栽培管理にかかる負担を軽減するため、スマート農業や先進システムに触れる機会を設けています。

### 担い手生産者が「Z-GIS」「ザルビオ」の操作を体験

農業者の所得増大 農業生産の拡大

12月5日(火)、JA全農の営農管理システム「Z-GIS」と、衛星データやAIを活用した栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」の担い手生産者向け研修会が、追分生活センターで開催されました。地域の担い手への農地集積が進むにつれて、栽培管理にかかる負担が増加するなか、農地管理や営農計画の策定などをサポートする両システムの特長や操作方法が説明されました。生産者はパソコンを操作して機能を体験し、生産現場での活用方法などを話し合いました。



ちよとおたし

"tenohikari"

家の光

『家の光』2017年1月号「野菜がうまい! おつまみ道場」より

調理/瀬尾幸子

## ホウレンソウの炒めおひたし

湯が沸く時間も待てない? よし、今日はゆでずに炒めてみよう



### 作り方

- 1 ホウレンソウは洗って水けを切り、4センチ長さのざく切りにする。根元は四つ割りに、太いものは八つ割りにする。
- 2 フライパンにオリーブオイルを中火で熱し、ホウレンソウを焦がさないようにしんなりするまで炒める。
- 3 しんなりしたら、さらに1分ほど炒める。
- 4 器に盛り、削り節としょうゆをかける。



根元はいちばんおいしくて栄養がある部分なので、捨てずに使いきる。

### 材料(2人分)

ホウレンソウ……1束(200g)  
オリーブオイル……大さじ1  
削り節・しょうゆ……各適量

暮らしをよくする情報がいっぱい! 『家の光』購読のお申し込みはお近くのJA窓口へ

日常生活賠償責任特約にご加入の方

日常生活で事故などにあったら、  
JA共済日常生活事故対応センター(平日9~17時) 0120-628-931まで